



～八女中央保育園～

議会だより や め

No.167 令和2年2月1日

- P 2 **みなさんの声を市政に生かします**
～市民と議会の意見交換会を開催しました～
- P 4 **12月定例会から**
～市役所の組織が変わります～
- P 8 **ここが聞きたい!** 一般質問 **13人**の議員が登壇
- P 16 **先進地視察を行いました** ～調査報告～

市政に生かします

総勢22人にご参加いただきました

平成22年度から毎年開催してきました「議会報告会」は、今年度から「市民と議会の意見交換会」に名称を改め、皆さまとの懇談を中心に情報交換やご意見を伺いました。

いただいたご意見・ご要望などについては、議会内で議論するもの、執行部につないでいくものに整理し、今後行政区長会、議会ホームページなどでお知らせします。また、本庁、各支所においても確認できます。今回はたくさんのご意見・ご要望等の中から一部を掲載しています。

国道3号バイパスは必要ですか

国道3号バイパスの計画がよく分りません。国道3号バイパス事業は本当に必要ですか。

議員より

国道3号バイパスは現道より東側に整備され、そちらの発展が期待できます。国道3号バイパスの早期完成を求める決議は議員の大多数が賛成しています。災害時等、高速道路の通行止めや公共交通機関の運休時に有効に利用されると考えられます。



人口減少への対策は

移住や定住をされる方に100万円の補助をする自治体がありますが、八女市でもできますか。

議員より

他の地域と人口の取り合いをするのではなく、地元の魅力を伝えて、転出を抑える施策が必要ではないでしょうか。

由布市では、家と果樹園を居抜きで貸し出しています。定住対策としても耕作放棄地を減らす上でも好事例だと思います。



行政区長が決まらない

行政区長は仕事量が多く、山間部では軒数が少ないが範囲が広いです。報酬を見直し、意欲をもってできるような対策をして欲しいです。

議員より

どこの地域でもある問題です。この問題は地域差が大きいです。また、年々、区長の仕事量が増えていると感じます。報酬を一気に上げるのは難しいので、軽減策や報酬の件も再検討が必要ではないでしょうか。



みなさんの声を

市民と議会の意見交換会を開催

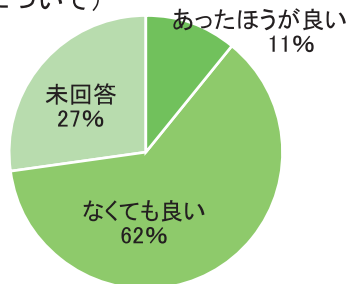
行ってよかった
言えてよかった

アンケートの声

意見交換の時間を長くしたことで、自分の意見が言えたことや意見に対する議員の考えを聞いたことが好評でした。

- ◆勉強になりました。また参加したいです。
- ◆各々の地域で持っている問題点は同じだと思った。その地域に住む人の思い、行動が発展につながると思う。
- ◆参加者が固定化している感じがする。若者の意見を聞きたかった。
- ◆重点施策等を紹介いただければ良かった。

(テーマについて)



テーマがない方がさまざまな意見を出しやすいという回答が多い一方、テーマがある方が専門的な意見交換ができるのではとの回答がありました。

いただいたご意見については、次回開催に向けて検討いたします。

ご参加いただき ありがとうございました

旧八女会場	64人
上陽会場	23人
黒木会場	57人
立花会場	27人
矢部会場	19人
星野会場	32人
合計	222人

どんな庁舎になるの

新庁舎の建て替えは、特徴的なものがありますか。

議員より

現在の場所です基本設計・実施設計に入りますが、基本計画では防災拠点として使える新庁舎とされています。賑わいづくりや複合化も含めて提言していますが、すり合わせができていません。



公立病院の現状は

公立八女総合病院について、存続や統合などの噂も聞くが現状について教えてほしい。

議員より

議会では、前年度以降協議されていないため存続という方向で理解しています。ただし、現在の議員間においてもさまざまなお意見があるのは事実です。

山間部の農業の活性化は

山間部は農地が狭いのでどう考えますか。

議員より

平坦部は大型機械が導入できますが、山間部はそれができないので、山間部に合った農業を目指すべきではないでしょうか。必要に応じて議会です。

12月 定例会

一般会計補正予算

一般会計補正予算は、8月豪雨災害による災害復旧関連事業費、自立支援給付費や地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金など、歳入歳出予算に19億718万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を400億5278万5千円とするもので、それぞれ所管の分科会（常任委員会）で審査しました。（関連「委員会審査」6～7ページ）

補正の主なもの

災害復旧関連事業費

- ・農林災害復旧費
8億8474万円
- ・土木災害復旧費
8億9200万円
- ・その他公共施設災害復旧費
1951万円



自立支援給付費

5460万円

地域介護・福祉空間整備等 施設整備補助金

896万円

12月定例会は11月27日から12月17日までの21日間の会期で開催しました。
市長より提案された一般会計補正予算の専決処分、一般会計・各特別会計の補正予算案、条例改正案、指定管理者の指定についてなど議案70件を審議しました。
(賛否表18～19ページ)

公の施設を管理する指定管理者を決定

八女市の公の施設の一部は、指定管理者が管理運営をしています。

今回、令和2年3月31日をもって指定管理の期間が満了するコミュニティセンター、観光施設、運動施設など議案39件の新たな指定管理者について審議し、いずれも原案どおり可決しました。(賛否表18～19ページ)



4月から指定管理者が変わる施設は次のとおりです。

- ・くつろぎの森グリーンピア八女
- ・池の山荘
- ・星のふるさと公園のうち2施設

(指定管理者)

株式会社YMサービス

公募による応募に基づき、八女市指定管理者選定委員会にてプロポーザル等による審査が行われ、指定管理候補者として選定された会社です。

問 設立されたばかりの会社で従業員との関係が重要だと思ふ。資料では、社員等から入社への同意書を提出ということだが、

答 グリーンピア八女、池の山荘の社員、常勤パート従業員を含め、同意書の確認をしている。

問 グリーンピア八女は、すぐ隣にあるサッカー場と連携について資料に思っており、サッカー場の活用で相乗効果が上がるものと期待している。

答 引き続きサッカー場と連携していくものと思っており、サッカー場の活用で相乗効果が上がるものと期待している。

お茶の里公園施設

(指定管理者)

奥八女自然楽校

笠原地区行政区長を中心に地域の振興発展を目的に組織された団体です。

市役所の組織が変わる

～八女市行政組織条例の一部を改正する条例の制定～

今回の条例改正は、市役所の各部でどのような業務を行うかを変更するものです。条例を変える理由の一つである機構改革は、市長の専権事項ですが、条例の改正にあたり、議会へ説明された機構改革の内容については、市民サービスに直結する問題であり、徹底した議論がなされました。

【経過】総務文教常任委員会に付託

⇒ 賛成少数で委員会 **否決**

(関連「委員会審査」6ページ)

【総務文教常任委員長の報告に対する質疑】

問 議論の上での否決と思うが多かった意見は。

答 具体的に条例改正部分への反対意見は出されていないが、議案資料により示された市長が定める課等の配置の中で、特に支所機構の変更について、市民への説明責任を果たすべく議論された。

問 機構改革で支所の職員数が減るかの議論は。

答 今回の議案は、支所の職員を減らすことが目的ではないと思っている。

反対

徹底討論

賛成

賛成

石橋 義博 : 今回の改正は、これまでのような大きな災害に、大胆かつ迅速に対応するための改革と聞いている。未曾有の大災害に対応すべき組織づくりは必要である。

反対

服部 良一 : 支所体制について、課がなくなり係だけになるということは、支所機能の低下となる。一番の専門員といってもいい課長がいなくなれば、支所機能の充実、機能アップとは言えない。

賛成

田中 栄一 : 各部の事務を市民により分かりやすいよう整理・統合し、災害復旧復興体制への充実に配慮されている。課、係の改廃等は市長の専権事項であり議会は不可侵であるべき。

反対

大坪久美子 : 東部が抱える問題は、西部以上に多岐にわたり、平時の内に現場を回り、住民の声を聞き、心をよせることが大事。機構の見直し案を見れば支所の職員が減る事は明らか。

賛成

川口 誠二 : 支所機能の低下を懸念し反対と言われているが、組織の見直しは市長の専権事項であり条例改正とは関係がないことである。当然市民サービスが低下しないよう要望する。

反対

森 茂生 : 合併当初から支所の職員が大幅に減り、支所で相談できなくなったという声を聞く。今回の機構改革では支所機能が低下するような気がしてならない。

賛成

高橋 信広 : 機構改革の基本方針に示されている考えは効果が期待でき、本庁と各支所のバランスを重視した効率化と機能強化が図れ、市民サービスの向上を目指すことが汲み取れる。

反対

三角 真弓 : 想定外の災害が起こった場合、安心、安全な暮らし、その災害に対する対応ができていないのか。誰一人置き去りにしない本市の組織機構とは思えない。

賛成

橋本 正敏 : 市民の目にもわかりやすい機構であり、窓口が一つですむワンストップサービスの実現など、市民目線のサービス向上を考慮すれば、いち早い実現が求められる。

原案に賛成 13人

原案に反対 7人

《議案第80号 原案可決》

厚生

総務文教

審査の主なもの

○令和元年度八女市一般会計補正予算(第5号)
【全員賛成で可決】
・民生費(自立支援給付費)..... 5460万円
・民生費(介護保険事業費)..... 896万円

審査の主なもの

○八女市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について
【賛成少数で否決】
○令和元年度八女市一般会計補正予算(第5号)
【全員賛成で可決】
・教育費(教育振興費:情報活用能力向上事業委託料等) 320万円

支所の課を廃止し支所次長を配置

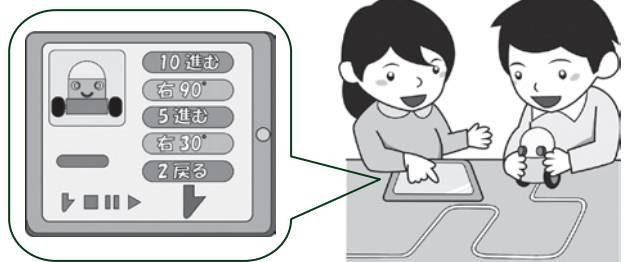
問 支所次長の役割は。
答 支所長を補佐し、支所の重要案件を担当することや支所内の調整的な役割も多く、本庁の各課との連絡を踏まえ、支所内の各係へ指示を行うことが主体的となる。
問 土木技術職の集約と。
答 各支所の土木技術職を集約し、本庁舎に第一整備室(八女・立花)黒木・上陽・星野・矢部)を設置する。
問 プログラミング教育と。
答 子どもたちが論理的に考える力を身に付ける目的で行うものである。
問 福島小学校がモデル校だが、他の小学校にも普及させるのか。
答 八女市は昨年度タブレット及び無線LANを整備しており、このモデルカリキュラムを行う環境が整っているため、各学校にも普及していく。

高齢者施設の全面改修とスプリングラー設置

問 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金について、内訳と詳細な内容は。
答 補助金の内訳は、認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業補助金として、1事業所に773万円の補助予定である。工事内容は、老朽化した床、外壁、キッチン及びエアコン等の全面改修を行うものである。また、既存小規模高齢者施設等スプリングラー設備等整備事業補助金として、住宅型有料老人ホーム1事業所に86万4千円と系列事業所であるデイサービス施設に36万7千円を補助予定である。工事内容は、事業所の増築部分にスプリングラーを設置するものである。
問 スプリングラー設置が必要な事業所で、未設置の事業所はあるのか。
答 設置が義務づけられている事業者では、既に完了している。



改修を予定しているグループホーム



子どもたちの考える力を育てるプログラミング教育

議会の動き



- 11月**
- 1日 新庁舎建設特別委員会
八女西部広域事務組合議会
 - 6日 全員協議会
議会運営委員会
市民と議会の意見交換会正副班長会議
八女地区消防組合議会
 - 7日 議会運営委員会視察(～8日)
 - 11日 玉名八女線期成会要望活動
市民と議会の意見交換会(黒木)
 - 12日 市民と議会の意見交換会(星野)
 - 13日 市民と議会の意見交換会(八女)
 - 14日 市民と議会の意見交換会(上陽)
 - 15日 全国過疎地域自立促進連盟定期総会
汚水処理対策特別委員会行政視察
 - 18日 筑後6市議会議長会議員研修会
 - 19日 八女中部衛生施設事務組合議会
 - 20日 総務文教常任委員会
厚生常任委員会
市民と議会の意見交換会(立花)
 - 21日 市民と議会の意見交換会(矢部)
 - 22日 議会運営委員会
 - 27日 令和元年第6回定例会(招集日)
全員協議会
議会だより編集委員会
- 12月**
- 2日 本会議(一般質問)～5日
 - 5日 本会議(議案審議)
予算審査特別委員会全体会
議会だより編集委員会
 - 9日 委員会・分科会
 - 13日 予算審査特別委員会全体会
議会運営委員会
市民と議会の意見交換会正副班長会議
 - 17日 令和元年第6回定例会(最終日)
全員協議会
議会だより編集委員会
 - 25日 八女西部広域事務組合議会
 - 26日 公立八女総合病院企業団議会
- 1月**
- 6日 議会だより編集委員会
全員協議会
 - 9日 議会基本条例検証作業部会
 - 14日 議会だより編集委員会
 - 15日 総務文教常任委員会
厚生常任委員会
 - 20日 議会だより編集委員会
 - 21日 新庁舎建設特別委員会
 - 30日 議会視察受入(菊陽町議会運営委員会)
 - 31日 議会基本条例検証作業部会

審査の主なもの

○令和元年度八女市一般会計補正予算(第5号)

【全員賛成で可決】

- ・土木費(住宅管理費)..... 200万円
- ・衛生費(環境衛生費:飲料水改善事業補助金)..... 240万円
- ・災害復旧費(農林災害復旧費・土木災害復旧費・その他公共施設災害復旧費)..... 17億9625万円
- ・農林水産業費(農業総務費・農地費)..... 2726万円

災害復旧に対して支援

8月の豪雨災害による災害復旧関連事業、飲料水改善事業、住宅改修事業等の補正予算の審査を行った。

問 小規模土地改良事業費補助金は何件か。

答 農地及び農業施設災害復旧事業の国庫補助の対象とならないものの、災害復旧事業に対する補助金で93件の申請が上がっている。

問 農業振興事業補助金の対象と条件は。

答 ビニールハウス等の施設と農業機械が主な対象で、補助率は大きく分けて施設が8割補助、機械が5割補助であり、他に細かく条件がある。

問 飲料水改善事業補助金の対象は。

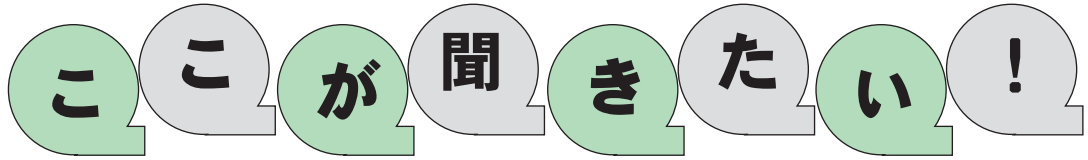
答 上水道及び簡易水道などの計画区域外にお住まいの方が行う井戸のボーリング工事や水質の悪化に伴う浄水器設置などである。

問 住宅改修補助金はどの範囲か。

答 市民個人の住宅を市内の業者で改修する場合の補助制度であり、八女市全体を対象とする。



被害を受けたビニールハウス



一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。

ここに掲載できない質問答弁は、八女市ホームページ等でご覧ください。

一般質問

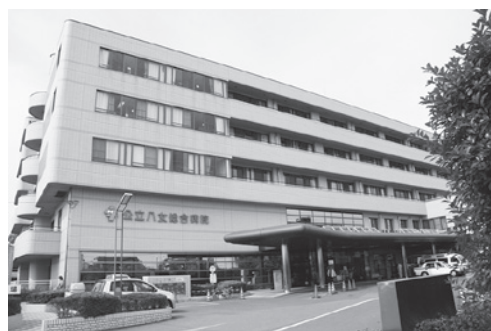
質問者	質問事項	掲載ページ
牛島 孝之	1 公立八女総合病院の現在の実態及び今後について八女市としての様に考えているのか 2 八女市の正職員及び非正規公務員（職員）について 3 八女市の教育及び文化についての考えは	9
橋本 正敏	1 高齢者の移動に関する施策について 2 若者の起業、移住の支援について	9
栗原 吉平	1 台風・豪雨の防災について 2 介護保険事業計画の進捗状況について	10
川口 堅志	1 商店街再生について 2 高齢者の働き場所について 3 八女茶をはじめとする農産物について	10
高橋 信広	1 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について 2 防災面及び環境面の水問題について 3 健康寿命の延伸について	11
中島 信二	1 防災対策について	11
堤 康幸	1 ナシ赤星病撲滅対策の進捗状況について 2 貴重な樹木の保護について	12
萩尾 洋	1 買い物難民に対する市の施策について 2 安心・安全な通学路の確保について	12
高山 正信	1 八女市の農業の現状について 2 農地中間管理事業法の見直しについて 3 新規就農者について 4 老朽化した社会体育施設について	13
森 茂生	1 農薬の安全性について 2 民生委員について	13
松崎 辰義	1 介護保険制度について 2 子育て支援について 3 交通安全について 4 福祉について 5 環境問題について	14
三角 真弓	1 森林の保全と林業の振興について 2 新庁舎建設について 3 予防医療対策について	14
石橋 義博	1 八女市経済の発展と雇用の充実、それに伴う人口減少をどう捉えているのか	15

公立八女総合病院の今後について 八女市としての考えは



牛 島 孝 之

答 今後も地域医療構想の動向を注視し対応していききたい



問 企業団を構成する町や市との話し合いは、その後どうなっているのか。

答 公立八女総合病院企業団内の病院機能再整備検討委員会で調査研究が行われており、その結果を企業団議会で協議され、その後、構成市町に提案される。この提案を踏まえ協議をしていく。

八女市の正職員及び非正規公務員について

問 八女市の正職員及び非正規公務員の人数は。

答 令和元年11月1日現在の正規職員は556人、再任用職員は31人、非正規職員のうち嘱託職員は

250人、臨時職員は120人であり、合計で957人である。

八女市の教育及び文化について

問 小学校の特別教室に對するエアコン設置は。

答 現在中学校及び義務教育学校の特別教室のうち76%、小学校の特別教室のうち41%に對して設置している。

今後の設置については、特別教室の利用状況や室内環境の状況等を勘案の上、国の補助制度を活用しながら対応していきたい。



橋 本 正 敏

問 指定管理者制度の施設、JAや商工会議所・商工会等と連携した割引・回数券などどうか。

答 さらなる付加価値を加え経済効果に反映させべく研究していく。

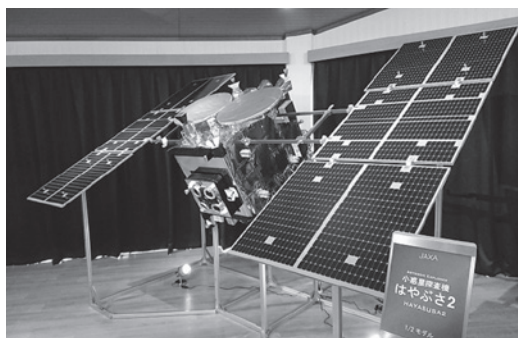
問 高齢者の事故抑制の施策はあるか。

答 八女シニア・ドライビングスクールの開催や自動車のアクセル踏み間違い防止装置、自動ブレーキのついたサポートカー等研究していく。

問 若者の移住・定住の支援は十分か。

高齢者の運転免許証
自主返納者に対する
優遇措置は

答 現在、6万円分の八女市タクシー
共通回数券がある



星の文化館「はやぶさ2」1/2 モデル

答 光ファイバー網の整備、パークアンドライド事業等の他、空き家改修費等補助金制度とこれに併用できる浄化槽整備事業補助金等がある。

問 起業に対する施策は。

答 新規創業・新事業展開補助金及び新規創業資金等借入者信用保証料・利子補給補助金がある。

答 大学との連携推進や星の文化館のはやぶさ2のモデルを生かした施策等を展開していく。

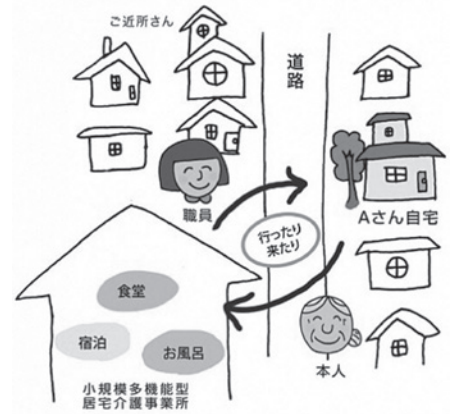
介護保険事業計画の進捗状況は

答 推進委員会に報告し着実な事業の推進に努めている



栗原吉平

地域の中で、自宅を中心に



自宅での生活を支える小規模多機能型居宅介護事業所の介護サービス

- 問** 第7期介護保険事業計画も残すところあと一年、これまでの進捗状況は。
- 答** 地域包括ケアシステムの深化、推進を図ると共に介護保険制度の持続可能性の確保に向け、自立支援、重度化防止など具体的な取り組みを行った。
- 問** 第7期の計画では、サービス事業所が少ない東部3カ所に小規模多機能居宅介護事業所を誘致する、としているが進捗は。
- 答** 上陽・矢部・星野の3カ所に設置の目標だったが、公募したものの応募がなかった。
- 問** 応募がないから設置しないのか。
- 答** 事業者への対応をみて、今後も計画の達成に向け取り組んでいく。
- 問** 災害対策のため地域防災力の向上へ
- 問** 甚大な災害が頻繁に起こる中、国の対策の見直しや市の対策を伺う。
- 答** 激甚化及び頻発している状況下において公助だけでは対応が難しくなっている。自主防災組織の訓練や資機材整備に対する支援など、地域防災力の向上に取り組んでいる。



川口堅志

- 問** 具体的にどのような対策を取っているか。
- 答** プレミアム付商品券発行事業や新事業展開補助金等を交付している。
- 問** 過疎化が進行する旧八女郡の商店街整備は。
- 答** 商工業・農林業の振興や、地域住民等と連携して活性化に取り組んでいる。
- 問** 高齢者の働き場所について
- 問** 高齢者に優しい環境の整った販売施設を提供することは可能か。
- 答** 黒木町の各所で高齢者の方が農産物等を販売されていることは承知しているため、公共施設等の活用を研究していく。

商店街の再生への対策は

答 商店街の活性化に向けた支援を行っている



黒木町の老朽化した販売所

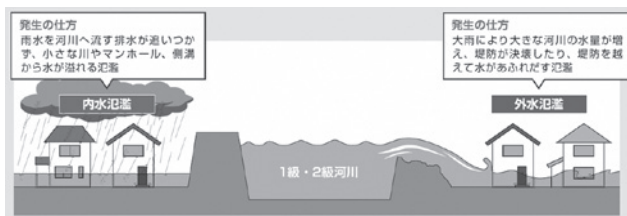
- 問** 八女茶をはじめとする農産物について
- 答** 物産展等に参加していきたいと考えている。
- 問** 八女茶発祥600年祭開催の支援は可能か。
- 答** 今後トップブランドとして重要な事なので、関係機関と連携を密にして支援をしていく。
- 問** 農産物の価格低迷で販売対策支援はあるか。
- 答** 首長によるトップセールスにて、販売活動を進めている。
- 問** 八女本舗以外に特産品販売店舗は考えているか。

都市計画マスタープラン・立地適正化計画 の中で、水問題の方向性は示すのか

答 総合的かつ専門的見地に基づき検討を進める



高橋 信 広



内水氾濫と外水氾濫のイメージ

問 河川の内側で起こる内水氾濫により浸水、冠水が発生しているが、対策としての内水氾濫ハザードマップは策定するのか。

答 国から話が出たばかりで、今後の動向をみながらどのような指標があるのか注視、研究してハザードマップ策定につなげたい。

問 浸水、冠水の原因は様々と思うが、具体的な対策はあるのか。

答 平成23年に福島地区の冠水対策として、外部委託して現地の調査を実施して、原因は把握できている。財源がネックで具体化した実績はない。しかし、国の水害対策として、緊急自然災害防止対策事業債が河川整備に活用ができる。あるいは河川のしゅんせつ経費も国の補助として検討されているなど、財源確保に目途が立っていき、今後具体的な対策を進めていきたい。

問 過去に排水計画を策定されたが、その計画に基づいて具体的な対策、計画はないのか。

答 8月豪雨の際、地元行政区から多くの要望書が提出されたため、市長より県土整備事務所に直接要望するとともに、市長、所長もいくつかの現場を確認している。今後、市管理河川は護岸整備やしゅんせつ等を行う一方、県にも要望していく。



中 島 信 二

問 本年3月に一部改定されたポイントは。

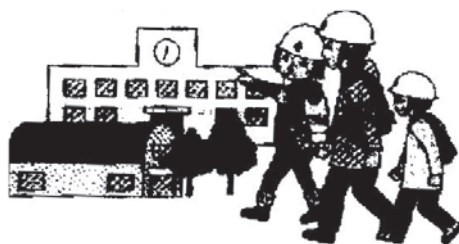
答 初めに住民等の円滑かつ安全な避難確保について。次に被災者保護対策の改善、避難者対策の充実について。次に平素からの防災への取り組みの強化、最後に緊急車両等の通行ルート等についての改定であった。

問 避難に関する情報伝達方法は防災ラジオ、緊急速報メール、消防車両の広報等があるが、なかなか市民への周知徹底は難しいと思う。市民は健康者だけではない、高齢者

や障がい者、子ども等、災害時の避難弱者の方たちも余裕をもって安全避難できるような避難システムを作成し、災害対策本部発令として実行してほしいと思うが。

答 防災研修会や出前講座などを通して市民に伝えるとともに自主防災組

早めの避難を心がけましょう



答 八女市地域防災計画が平成30年に改定とあるが、主な改定内容は何か

風水害、震災、事故等対策編、資料編の4部構成である

織の育成支援など地域での避難体制の推進を図っている。

問 災害によっては避難は一刻を争う、早目の避難発令をお願いしたい。

答 全市民が安全避難できるように色々な組織と各地域の皆様のご協力を

貴重なカラタチの古木群を今後どのように保護していただけるのか



堤 康 幸

答 日当たりの改善と進入道路の整備に取り組んでいく



矢部村のカラタチの古木群

問 指定樹木の現状は。
答 樹木の天然記念物は、国指定1件、県指定11件、市指定19件の合計31件である。

問 指定樹木の保護は。
答 黒木の藤と矢部のカラタチは市が直接管理しているが、その他は所有者や地元団体が管理している。また、樹木保護について相談や要望があつた場合は、国・県指定は県文化財保護課に、市指定は、市文化財専門委員会に助言を求めて対応している。

問 矢部のカラタチが指定された理由は何か。

答 枳殻地区のカラタチは推定樹齢が300年とされ、国内でも珍しい古木群であり、希少価値があると判断され平成14年に市の指定となり、合併後は市が引き継いでいる。

問 適切な管理を行い、地域振興にも活用するべきと考えるが。

答 日当たりを良くするために、周囲の杉を伐採する方向で調整する。

問 対策の進捗状況は。
答 農協、なし部会、普及指導センターと連携して取り組みを進めている。

問 ナシ赤星病撲滅対策
答 農協、なし部会、普及指導センターと連携して取り組みを進めている。

問 荒尾市のように撲滅を完了している産地もあるが、他産地の取り組みについて調査されているか。
答 農協・なし部会とも協議し視察調査を検討したい。



萩 尾 洋

問 独居老人あるいは高齢者世帯は少なくない。特に買い物難民（弱者）は把握しているのか。
答 民生委員アンケートでは、日常生活圏全域から買い物、通院が不便という記載が多い。

問 この様な移動手段を持たない方々に対して、予約の必要がない巡回バスを運行しては。
答 八女市地域公共交通網形成計画の中でも利用しやすい交通ネットワーク、いわゆる市街地循環線の導入を考えている。

答 日常生活の外出や買い物難民（弱者）は少なくない日常生活への市の支援策は高齡化が進む中、買い物難民（弱者）は少なくない日常生活への市の支援策は

答 日常生活の外出や買い物難民（弱者）は少なくない日常生活への市の支援策は

問 遠距離通学者に対する通学バスの運用は、検討すると返答するばかりで、どのような協議をされたのか。同じ事を5回も聞くが。
答 今回、公平を期するために基準を示したい。小学校まで4キロを超える場合、又は3キロ前後



他自治体の巡回バス



安全・安心な通学路の確保について

問 遠距離通学者に対する通学バスの運用は、検討すると返答するばかりで、どのような協議をされたのか。同じ事を5回も聞くが。
答 今回、公平を期するために基準を示したい。小学校まで4キロを超える場合、又は3キロ前後

問 かつ通学に困難な条件がある場合、交通量が多い場合も対象になる。
問 地区の保護者会でもバス運行の要望が出たと
答 学校、保護者、それから地域の三者の意見が一致して総意として要望されたら、直ちに検討する。

基幹産業である八女市の農業をどう考えているのか

答 若い人が就業できるように、環境をつくっていく



高山 正信

問 農地中間管理事業法の改正に伴う、人・農地プランの見直しは。
答 プランの実質化を図るため、令和2年度までの策定に向けて見直し作業の準備を行っている。
新規就農者について
問 受入体制は。
答 専門の新規就農相談員を配置し、相談を受け付けている。また、支援センターで研修を行い、研修中に空き農地などを確保して研修後の就業につなげる体制をとっている。



老朽化した立花町体育館

問 地域おこし協力隊の活用は行われているか。
答 新規就農を活動内容とした募集を行っている。
問 八女には、豊富な作物があるが、技術指導をする場はあるのか。
答 支援センターでは、イチゴとトマトを研修として受け入れしている。研修品目の検討も考えていくべきと認識している。
老朽化した社会体育施設について
問 立花町体育館の雨漏りの対応は。
答 来月より全体的に調査をし、方向性を出す。

問 総合体育館及び立花体育館の今後のあり方は。
答 統合や廃止、拡充等を考えていきたい。
農薬の安全性について
問 八女市でのドローンや無人ヘリを使った農薬散布の現状は。
答 水稲など約984ha散布が行われている。
校庭での除草剤散布
問 除草剤グリホサート系(ラウンドアップ等)は、国際ガン研究所が5段階の上から2番目にガンのリスクが高いと公表した。日本の国会議員を含む28人の髪の毛を分析したら70%の人から除草剤成分が検出されたと話題になっている。
問 市内の学校校庭で除草剤を散布しているなら、直ちに中止するべきだ。



森 茂生

問 除草剤グリホサート系(ラウンドアップ等)は、国際ガン研究所が5段階の上から2番目にガンのリスクが高いと公表した。日本の国会議員を含む28人の髪の毛を分析したら70%の人から除草剤成分が検出されたと話題になっている。
答 小学校14中10校、中学校10校中7校で除草剤を使用している。現状で使用しないとは言えない。

学校給食の安全性は
問 アメリカ、カナダ産小麦は収穫直前に除草剤を散布し、枯らしてから収穫する方法が取られている。そのため輸入小麦
答 今回のところ考えていない。
問 今のところ考えていない。



答 民生委員の活動費を引き上げるべきでは、県で引き上げが可決されれば、同額引き上げを協議する。

車の急発進防止装置について、具体的に どういう検討がなされたのか



松 崎 辰 義

答 市内の高齢者の方々に試乗いただいて、好評を得ている



- 問** 好評を得ているなら、市の広報誌、ホームページ等で周知しているが、対象者全ての方が理解しているのか。
- 答** 理解しているのかの把握はしていない。
- 問** 対象者と思われる人には全て申請書を送付すべきではないのか。
- 答** 周知については、具体的に検討して実施したいと考えている。
- 問** 認定を受けた人は、5年間のさかのぼることができるとあるが、周知はどのようにするのか。
- 答** その点をわかりやすく伝えていくようにする。
- 問** 障がい者控除について
- 答** 介護保険制度の障がい者控除について



三 角 真 弓

- 問** 本市は総面積の65.6%が森林、平成24年度の北部豪雨災害後の荒廃森林の増加と林道の荒廃、林業従事者の高齢化等厳しい現状をどう考えるのか。
- 答** 県の森林環境税を利用し、荒廃森林再生事業を平成20年から実施している。
- 問** 今後、森林組合・素材生産業者・小規模や一人親方等林業事業体の方々との意見交換を行う事や、林業機械の購入等の補助金の見直しを検討

- 答** される等により新規就業者の増加や林業収益の向上に繋がるのではないのか。
- 問** 第2期目の荒廃森林整備事業に絡めて行う。新庁舎建設について
- 問** 本市全体の利便性や建設費の将来の財政負担を考慮しているのか。
- 答** 利用しやすい組織・機構も考え、支所とも新



平成24年北部豪雨災害の被災現場（笠原）

- 電算システムで配慮する。建設費の償還期間は借り入れより30年間と考える。
- 問** 国が高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成を5年間延長を決定。高齢者の肺炎による死亡率低下のためにも対象者への周知徹底を行ってほしい。
- 答** 市の広報への掲載やハガキによる通知を行う。

答

地理的、地形的条件に合った効率的な作業形態を考える

防災・減災等環境問題も鑑み森林の保全と林業の振興をどう考えるのか

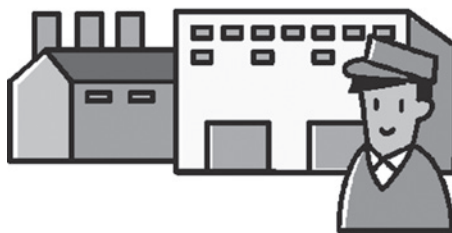
前古賀工業団地の進捗は

答 造成予定地の用地取得を進めており、早期実現に努力する



石橋 義博

問 更なる工業団地の取り組みは考えているか。
答 考えておらず、市民でやられればと思っている。
問 事業規模が大きくなると民ではなく行政、市が行わないと進みにくい。雇用問題は市民の切なる要望であるが。
答 企業の誘致は、積極的に進んでいくと考えており、行政として支援できる範囲のことはやっています。



問 中山間地において経済的に定住できる策は考えているか。
答 農業においては青年就業者を支援する国、県の新規就農者支援事業に加え、八女市独自の事業を拡充、Uターンによる新規就農者を受け入れている。商工業においては、新規創業、新事業展開補助金を創設し、さらに既存事業者に補助金を交付して支援に努めている。
問 もっと大胆に国の補助金や人を取り込む事業、雇用を生む施策を取り入れたらどうか。現状の施策では人口増につながらないのでは。
答 国の直轄事業は、よほどの必要性がその地域になければできないという基本的な考え方があり、地域のことは、まち・ひと・しごと創生総合戦略等の事業で個性ある自治体づくりのための財政支援をやっていくということである。

請願・陳情について

市政についての要望があるときは、市議会に対して請願書や陳情書を提出することができます。請願には紹介議員が必要ですが、陳情は議員の紹介は必要ありません。

●受付・審査について

請願・陳情は、原則として**議会開会日の6日前の午後3時まで**に受理したものが、その会期に審査されます。また、**閉会日の3日前まで**に受理したものは、閉会中の継続審査として所管の委員会に付託・送付されます。(土日・祝日の場合は、その前日となります。)

この地で生きがいをもって 生きぬくため

〈総務文教常任委員会先進地視察〉

10月28日～30日

綾部市 トチの実加工で 「限界集落」が活気 づいた

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」という水源の里の理念に基づき流域連携の必要性を全国にアピールする目的で、綾部市が中心になり全国水源の里連絡協議会を発足し、現在162団体が加盟している。

古屋集落という限界集落では、3世帯4人でトチの実を利用した餅や煎餅、お菓子、焼酎などを販売。このことをSNSにて発信、賛同金、ボランティア、催しを通じ集落消滅の危機を救った。

コミュニティナース事業では、施設や病院ではなく、地域の中で日常的に住民と関わり、健康増進や地域のコミュニティ



トチの実を利用し全国にアピール

亀岡市 けがや事故などは 予防することができる

今回、セーフコミュニティについて学んだ。

高齢者の安全、交通安全、乳幼児の安全、自殺対策、防犯対策、スポーツ安全の対策委員会を六つ作りそれぞれが具体策を講じている。

《調査を終えて》

時代や社会の移り変わりは止めようもないが、限界を迎えるまで精いっぱい生きぬくという綾部市の3人の高齢者の力強い生き方に感動した。

また、コミュニティナースの活動こそ、地方創生のモデルとも言えるものである。

水源の里政策もコミュニティナース政策も境界は感じたが、地域住民が元気で、活気があることは事実である。

「チーム議会」として

政策提案を

〈議会運営委員会先進地視察〉

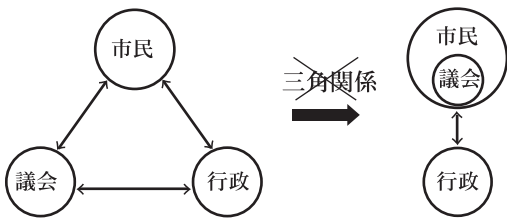
11月7日～8日

西協市 議会 全国No.1の 市議会とは

議会の総意により、市民・行政・議会の三角関係から、市民⇄議会・行政という双方向の考えで、議会改革に様々な形で取り組まれている。中でもこの考えが見事に反映されているのが、議会と語ろう会（議会報告会）

議会の総意により、市民・行政・議会の三角関係から、市民⇄議会・行政という双方向の考えで、議会改革に様々な形で取り組まれている。中でもこの考えが見事に反映されているのが、議会と語ろう会（議会報告会）

市民・議会・行政（市長）の関係



議会は市民の中にある

市議会 市民参加の拡大 による議会の 機能強化を

西協市に勝るとも劣らずの議会改革に取り組み、議会基本条例の検証・見直しをはじめ独自の発想で議会サポーター制度や委員会代表質問の導入などを取り入れている。

また、請願・陳情は市民からの政策提案として位置づけ、申請者の意見を聞く場を創設し、意見陳述が100パーセント実施されている。

議会サポーター制度は、議会における市民参加の重要性から、民主的な議会運営のために導入された。募集によって選ばれた一般市民のサポーター（20名程度）から、議会に対する多様な声を聞き、一つ一つを真剣に受け止め、議会に関心を持つ市民の拡大を目指している。

《八女市にどう生かす》

共通することは、議員一人一人が「チーム議会」として力を発揮できる取り組みを実践し、政策中心の議会を目指している。議会改革においては、両市議会の事例を含め協議を継続しながら、できることから取り組むべきと考える。

何よりも、八女市議会基本条例の検証・見直しを優先して、両市議会の手法を研究し速やかに実行に移したい。

いきいきと元気に過ごす まちづくりを目指して

〈厚生常任委員会先進地視察〉

10月9日～11日

愛知県大府市の認知症対策、東海市のいきいき元
気推進事業、奈良県生駒市の介護予防の取り組みに
ついて調査した。

大府市 認知症に不安の ないまちづくりを 推進

健康は、家庭・社会に
とって最大の財産であ
り、心身の健康は自分で
守り、つくるものである
という「健康づくり都市
宣言」のもとに「認知症
に対する不安のないまち
づくり推進条例」を制定
し、認知症対策のため
様々な施策を実施してい
る。



認知症予防の「しかけ」が
ある大府市の公園

東海市 元気あふれる 快適都市を目指す

運動応援メニューや食
生活応援メニューで、健
康を意識するきっかけづ
くり、心と体がよるこぶ
食生活づくり、人と人と
がつながる場づくりを推
進している。また「トマ
トで健康づくり条例」を
制定し、トマトを通して
健康づくりのプロジェク
ト事業を展開している。



東海市は「トマト」で健康
づくりに取り組んでいる

生駒市 超高齢化社会を 恐れないまちを 目指す

「支えられる側から支
える側」をモットーに
自立支援と介護重度化防
止を図るために、「憩い
の場の創設」や「いきい
き百歳体操」「認知症カ
フェ」「いきいきクープ
ン券の交付」など多彩な
事業に全庁を挙げて取り
組んでいる。

〈八女市にどう生かす〉

3市は、行政が市民・
地域・団体・関係機関と
共に、介護を受けない、
認知症にならない「いき
いきと元気に過ごすまち
づくり」に頑張っており
ました。

八女市でも「スポーツ・
健康づくり都市宣言」に
沿った、市民一人一人が
健康に対して意識を高
め、積極的にスポーツに
親しむことで、健康寿命
の延伸につなぐための政
策を提言していきたい。

八女市の合併浄化槽を どう推進するのか

〈汚水処理対策特別委員会先進地視察〉

11月15日

流域下水道の範囲が決まり、残りは合併浄化槽を推進するわけだが、設置費・
管理費等で不公平であると市民から不満の声が聞かれた。

議会は、さっそく「汚水処理対策特別委員会」を設置し、先進地の佐賀市と嬉
野市の市町村設置型の浄化槽事業^(※)を視察研修し検討を始めることとした。

市町村設置型は、市が用意した浄化槽を使い管理も市が行うもので、個人設置
型と比較して、市民の負担は安くなるものの、市の財政負担が大きくなるもので
ある。 ※現在の浄化槽法では、浄化槽といえば「合併浄化槽」と定められています。



市が設置する浄化槽事業の課題を聞く

佐賀市

市営浄化槽事業へ変更
した理由としては、公平
性を確保する目的である。
市営浄化槽の普及率は
平成30年度で43%と過去
6年間で2倍以上の普及
率である。その一方で経
費回収率は厳しい状況
で、維持管理費の抑制や
適正な使用料改定が課題
となっているようである。

嬉野市

市営浄化槽事業へ変更
した理由は、公共サービ
スの公平性。10年後の完
了を見据え、個別処理区
域の浄化槽整備の加速化
が必要とのことである。

普及率12・5%とまだ
低い。公共下水道を縮
小して市営浄化槽への移
行が進められており、普
及率はさらに上がるもの
と思われる。維持管理費
は使用料で賄えていな
い。
令和3年には料金体系
を統一し、今後、公営企
業会計へ移行し、全体的
な料金改定が必要と考え
てあるようだ。

〈調査を終えて〉

市の環境美化の推進、
公平なサービス提供と市
の財政負担等々を検討し
なければならぬ。
先進地に学びながら
しっかりと議論をしていき
たい。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		中島 信二	高山 正信	青木 勉	川口 堅志	橋本 正敏	田中 栄一	堤 康幸	高橋 信広	石橋 義博	牛島 孝之	萩尾 洋	服部 良一	大坪 久美子	寺尾 高良	栗原 吉平	三角 真弓	森 茂生	栗山 徹雄	井上 賢治	川口 誠二	松崎 辰義	角田 恵一
○ 賛成 ● 反対	報告第12号	報告事項のため、採決はありません																					
	議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第69号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第70号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第71号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第72号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第73号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第74号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第76号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第77号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第78号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第79号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第81号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第82号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第83号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第88号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第89号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第90号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第97号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第98号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第99号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第122号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第123号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第124号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第125号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第126号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第127号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第128号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第129号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第130号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第131号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第132号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第133号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第134号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第135号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	花宗用水組合 議案の選	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため採決には加わりません

12月定例会で審議した議案の結果と賛否

報告第12号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
議案第66号	専決処分について(令和元年度八女市一般会計補正予算(第4号))	承認
議案第67号	専決処分について(令和元年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算(第1号))	承認
議案第68号	専決処分について(令和元年度八女市水道事業会計補正予算(第1号))	承認
議案第69号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
議案第70号	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例及び八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第71号	八女市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第72号	八女市社会福祉施設設置条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第73号	八女市衛生センター条例及び八女市自給肥料供給施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第74号	八女市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第75号	八女市立学校施設の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第76号	八女市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第77号	水道法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
議案第78号	八女市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第79号	八女市簡易水道事業の水道事業への統合に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
議案第80号	八女市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第81号	八女市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第82号	字の区域の変更について	可決
議案第83号	市道路線の認定について	可決
議案第84号	指定管理者の指定について(第84号八女市豊岡コミュニティセンター)(第85号八女市串毛コミュニティセンター)(第86号八女市木屋農村環境改善センター)(第87号八女市笠原集会所)	可決
議案第88号	(第88号八女市大淵基幹集落センター)	
議案第89号	指定管理者の指定について(八女市黒木ふれあい交流拠点施設くつろぎの森グリーンピア八女)	可決
議案第90号	指定管理者の指定について(第90号八女市グリーンパル日向神峡)(第91号八女市お茶の里公園施設)(第92号八女市男ノ子焼の里)(第93号八女市立花活性化センター、八女市立花農産物等直売所)(第94号八女市ワインセラー、田崎廣助画伯記念ギャラリー)(第95号八女市夢たちばなビレッジ)(第96号八女市秘境柚の里溪流公園)(第97号八女市星の文化館、八女市星野茶の文化館、八女市星のふるさと公園のうち6施設)	可決
議案第97号		
議案第98号	指定管理者の指定について(八女市池の山荘、八女市星のふるさと公園のうち2施設)	可決
議案第99号	指定管理者の指定について(第99号八女市星野自給肥料供給施設)(第100号八女市障害児学童保育所)(第101号八女市立花総合保健福祉センター、八女市星野総合保健福祉センター、八女市特別養護老人ホームゆいのもり、八女市矢部高齢者生活福祉センター)(第102号八女市田代農村活性化センター)(第103号八女市笠原東交流センター)(第104号八女市ワイン工場)(第105号八女市星野製茶技術研修工場)(第106号八女市茶仕上加工施設)(第107号八女市バンブー工場)(第108号滝の脇地区簡易給水施設)(第109号広内・上原地区簡易給水施設)(第110号藤山地区簡易給水施設)(第111号広野地区簡易給水施設)(第112号八女市大明館弓道場)(第113号八女市串毛運動場)(第114号八女市大淵運動場)(第115号八女市笠原運動公園)(第116号八女市串毛運動公園)(第117号八女市田代運動公園)(第118号旭座人形芝居会館)(第119号八女市白城の里旧大内邸)(第120号八女津媛浮立館)(第121号柚のふるさと文化館)(第122号星野焼展示館)	可決
議案第122号		
議案第123号	令和元年度八女市一般会計補正予算(第5号)	可決
議案第124号	令和元年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第125号	令和元年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第126号	特別職の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第127号	八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第128号	八女市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第129号	令和元年度八女市一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第130号	令和元年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第131号	令和元年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第132号	令和元年度八女市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第133号	令和元年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第134号	令和元年度八女市矢部診療所特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第135号	令和元年度八女市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
花宗用水組合議会議員の選挙 《平島 光朗、牛島 有一、丸林 尚由、田中 吉明、今里 光昭、椛 勇人、溝口 喜之、牛嶋 光男、城後 公一、当選元村 信昭、樋口 利忠、徳永 和夫》		

スマートフォン・タブレット端末で 議会中継を見ることができます

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後4日程度(土・日及び祝日を除く)で見ることができます。スマートフォンやタブレット端末でも見ることができますので、ぜひご覧ください。

議会を傍聴しませんか?

市政の動きを知るために、ぜひ議会を傍聴ください。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧いただくことができます。事前予約はいりません。どなたでも傍聴できますので、みなさまのお越しをお待ちしております。日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp



インターネットで「八女市議会」を検索
「議会インターネット中継」をクリック!
<http://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/12>

次回定例会 2月26日(水)予定 立花庁舎議場 午前10時から



～12月定例会～

議会を傍聴されたみなさんの声をご紹介します。(原文のまま記載)

○教職員の時間外勤務の把握はできているから、その公表と超勤の縮減の具体的な方法を明らかにし、広報で知らせてもらいたい。

編集後記

昨年(2019年)は元号が平成から令和へと変更され、今年(2020年)は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

八女市においては一市二町二村の合併より10年という節目の年を迎えました。

近年は、全国で台風や集中豪雨による大変な災害をもたらしています。八女市においても昨年8月28日の豪雨により、道路の冠水、家屋の浸水、土砂崩れ等の災害に襲われました。

今年こそは災害等のない平穏な一年になることを祈るばかりです。八女市においては庁舎建て替えや、公立八女総合病院の問題、少子高齢化による人口減少等たくさん課題があります。議会も執行部と一緒に何が市民のためなのかを検討し、子々孫々に負の遺

牛島 孝之



発行責任者
議長 角田 恵一

議会だより編集委員会

委員長 高橋 信広

副委員長 大坪久美子

委員 松崎 義

委員 井上 賢治

委員 牛島 孝之

委員 堤 康幸

委員 川中 栄一

委員 高山 正信